

令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程

一般入学試験問題 【専門科目】 (2024.9.14 実施)

注意：①6科目中2科目選択。

(9問中2問を解答すること。ただし、2問とも同一科目での選択は認めない。)

②解答用紙には受験番号、氏名、科目名、選んだ問題番号を必ず記入すること。

③問題用紙にも受験番号、氏名を必ず記入し、解答用紙とともに提出すること。

科目名	問題番号	問 題
商学	1	日本の家電市場において、いわゆる「指定価格制度」（商品売れ残りのリスク等を自ら負うことを前提として、小売業者に対して家電製品の販売価格を指示すること）を採用する動きが近年広まりつつある。①メーカーが指定価格制度を導入する狙い、および②指定価格制度の独占禁止法上の位置づけ、について論じなさい。
	2	映像作品のロケ撮影を受け入れることで、公開後にファンの集客を目指す観光戦略をロケツーリズムという。このロケツーリズムが生み出す経済効果について、クルーの宿泊や飲食、観光客の増加、国内人材の技術向上、以上の三つの側面から論じなさい。
経営学	3	テイラーによって提唱された科学的管理法 (scientific management) について、「課業管理」「出来高差率賃金制」「職能 (機能/スタッフ) 的組織」の3点から、その特徴について説明しなさい。そのうえで、科学的管理法が提唱される以前と以後ではどのような違いがあるのか、経営学の歴史的展開における意義を述べなさい。
	4	チェスター・バーナードが提唱した組織均衡論の特徴とその意義について述べよ。
会計学	5	全部原価計算と直接原価計算の違いについて説明しなさい。
	6	企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に関する以下の問いに答えなさい。 (1) 「金融資産」及び「金融負債」の範囲について具体的な項目を説明しなさい。 (2) 「その他有価証券」とはどのような性格をもつ有価証券かを説明しなさい。 (3) 「その他有価証券」の貸借対照表価額とその評価差額の会計処理方法を説明しなさい。
ITビジネス	7	生成AIが可能にしたことを説明し、それらのビジネスへの影響を複数の観点から述べなさい。
キャリア・マネジメント学	8	マーク・サヴィカス (Mark L. Savickas) の提唱したキャリア構成 (構築) 理論 (Career Construction Theory) の全体的な理論の概要を説明したうえで、その重要な概念であるキャリア・アダプタビリティについて詳しく述べなさい。
スポーツマネジメント	9	スポーツ・運動実践とパーソナリティの関係について論じなさい。加えて、アスリートにおける「完全主義」および「攻撃性」の利点と欠点について論じなさい。

商学研究科	受験番号		氏名	
-------	------	--	----	--

令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程  
一般入学試験問題 【専門科目】 (2024.9.14 実施)

## 商学1

### 問題

日本の家電市場において、いわゆる「指定価格制度」(商品売れ残りのリスク等を自ら負うことを前提として、小売業者に対して家電製品の販売価格を指示すること)を採用する動きが近年広まりつつある。①メーカーが指定価格制度を導入する狙い、および②指定価格制度の独占禁止法上の位置づけ、について論じなさい。

### 解答例

①近年の家電市場においては、新製品または新モデルの発売後しばらく時間が経過すると、販売店間の競争から当該製品の店頭販売価格が低下し、これに対応するためにメーカーが販売奨励金を支出して販売店を支援するとともに、短期間のうちに次の新モデルを発売することで実勢価格の低下を避ける状況が一般的になっている。メーカーが指定価格制度を導入する主要な狙いは、このような店頭での「値崩れ」を防いでブランド価値を維持するとともに、新製品の開発に充てる十分な資金と時間を確保することにあると考えられる。

②原則として、メーカーが流通業者による再販売価格を指定して拘束することは、独占禁止法の定める不公正な取引方法に該当し違法である。しかし、家電メーカーの指定価格制度では、商品売れ残り等のリスクをメーカー側が負っていることから、販売店は単なる取次ぎとして機能しているに過ぎず実質的にみてメーカーによる販売と認められるため、独占禁止法上の不公正な取引方法には該当せず違法とはならない

出題の意図は、家電産業において近年注目される「指定価格制度」を題材として、メーカーのチャンネル戦略に関する以下の諸点についての理解を確認することにある。

- ・小売価格を一定の水準に維持することがメーカーの販売戦略上なぜ・どのように重要であるか
- ・再販売価格を拘束する行為が独占禁止法によって禁じられた行為類型に当たるのはなぜか
- ・家電メーカーの「指定価格制度」の是非に関する公正取引委員会の見解について

# 令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程

## 一般入学試験問題 【専門科目】 (2024.9.14 実施)

### ■出題文

映像作品のロケ撮影を受け入れることで、公開後にファンの集客を目指す観光戦略をロケツーリズムという。このロケツーリズムが生み出す経済効果について、クルーの宿泊や飲食、観光客の増加、国内人材の技術向上、以上の三つの側面から論じなさい。

### 出題意図

本問題は、映像作品のロケ撮影受け入れを契機として地域が得る多面的な経済効果について理解し、論理的に整理して論述する力を問うものである。ロケツーリズムは、撮影クルーによる宿泊・飲食などの直接的な消費、作品公開後の観光客増加による地域経済の活性化、さらには撮影に関わる国内人材の技術向上といった波及効果を生む点に特徴がある。受験者には、出題文で示された三つの側面を取り上げ、ロケツーリズムの意義を総合的に捉えることが求められる。また、提示された情報を整理し、論旨を明確に構成しながら、限られた字数の中で簡潔かつ的確にまとめる力と文章表現力が評価される問題である。

### 問題3

テイラーによって提唱された科学的管理法 (scientific management) について、「課業管理」「出来高差率賃金制」「職能 (機能/スタッフ) 的組織」の3点から、その特徴について説明しなさい。そのうえで、科学的管理法が提唱される以前と以後ではどのような違いがあるのか、経営学の歴史的展開における意義を述べなさい。

#### 論述ポイント

- テイラーの科学的管理法を構成する「課業管理」「出来高差率賃金制」「職能 (機能/スタッフ) 的組織」について、それぞれ要点を押さえた説明がなされていること。
- テイラーの科学的管理法が提唱される以前は、親方などによる「成り行き管理」が基本であったことに言及し、その問題点について説明がなされていること。
- テイラーの科学的管理法が提唱される以前は、出来高賃金制などが導入されていたが、恣意的な賃率切り下げなどが横行していたほか、それに対抗するために労働者による組織的怠業なども頻発していた事実について言及がなされていること。
- テイラーの科学的管理法が提唱されて以降は、賃率だけではなく、職務内容としての「課業 task」を基盤とした職務設計がなされるようになっていった点が踏まえられていること。
- 「課業」にもとづいて出来高差率賃金制が導入され、成果主義賃金の源流となったことに言及がなされていること。
- 職能的組織それ自体は、実践においてあまり導入されなかったが、ライン&スタッフ型組織といったかたちで、現代においても参照されている点に言及がなされていること。

以上の点が論述において踏まえられているかどうかによって、採点評価をおこなう。

令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程  
一般入学試験問題【専門科目】（2024.9.14 実施）

経営学：問題番号4

チェスター・バーナードが提唱した組織均衡論の特徴とその意義について述べよ。

解答例

チェスター・バーナードが提唱した組織均衡論の特徴は、古典的経営学が重視した命令・統制モデルとは異なり、公式組織を「協働システム」として捉えた点にある。バーナードは、公式組織を「二人以上の人々の意識的に調整された活動や諸力の体系」と定義し、公式組織が成立・存続することで、初めて協働システムはシステムとして維持されると主張した。

公式組織の成立には、組織が追求する「共通目的」、構成員が組織の達成のために提供する努力や労働を指す「貢献意欲」、そして、この二つを円滑につなぐ役割を果たす「コミュニケーション」が必要となる。この三要素が相互に作用することで、組織は初めて協働システムとなり得る。組織の存続には、「有効性」と「能率」の維持が求められる。有効性とは、組織が環境に適応した共通目的を達成する度合いである。一方、能率とは、組織が構成員の貢献意欲を確保するに足る有効な誘因（報酬や満足感）を提供できる度合いである。組織は、貢献を上回る誘因を提供することによって、能率を維持するとともに共通目的の達成に向けて構成員の継続的な協力を確保する必要がある。この貢献と誘因の均衡こそが、組織存続の根幹をなしている。

組織均衡論の意義は、第一に、単なる機械的な構造ではなく共通目的を持った人間の協働システムとして組織を捉えた点が挙げられる。これにより、金銭的報酬のみならず、人間関係や心理的満足感といった非金銭的報酬が、組織の維持・発展に不可欠であることが初めて体系的に示された。第二に、経営者の役割（職能）を再定義した点が挙げられる。経営者の役割は、単に命令や統制を行うことではなく、構成員の協働を促して協働システムを維持することにある。バーナードの組織均衡論は、ルールや構造の整備のみならず、構成員のモチベーション管理が組織力向上に不可欠であることを示唆している。バーナードの組織均衡論は、組織がその目的を達成し、持続的に発展していくための重要な教訓を提供していると言える。

出題意図

本題の出題意図は、近代組織論を代表するチェスター・バーナードの「組織均衡論」について、その本質的な理解と、経営学の発展における歴史的・理論的な意義を問うことにある。

令和7年度博士前期課程 一般入学試験問題

会計学 問題番号5

全部原価計算と直接原価計算の違いについて説明しなさい。

(評価の指針)

本問題の解答は、次の内容に言及しているかを基準として評価する。

- ・ 計算構造の違い
  - ・ 全部原価計算では、製品原価にすべての製造原価を含める
  - ・ 直接原価計算では、製品原価に変動製造原価のみを含め、固定製造原価は期間原価として処理する。
- ・ 計算結果の違い
  - ・ 全部原価計算において計算される営業利益は、期首、期末の棚卸資産に含まれる固定製造原価を加減することで、直接原価計算の営業利益に調整することができる。
- ・ それぞれの利用目的
  - ・ 全部原価計算が外部に公開する財務諸表作成に利用され、直接原価計算が組織内部の意思決定や業績評価に用いられること。

令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程  
一般入学試験問題および解答例・出題意図  
【専門科目・会計学・6】(2024.9.14 実施)

1. 問題文

企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 「金融資産」及び「金融負債」の範囲について具体的な項目を説明しなさい。
- (2) 「その他有価証券」とはどのような性格をもつ有価証券かを説明しなさい。
- (3) 「その他有価証券」の貸借対照表価額とその評価差額の会計処理方法を説明しなさい。

2. 解答例・出題意図 (評価の視点)

(1)

解答例

金融資産とは、現金預金、受取手形、売掛金及び貸付金等の金銭債権、株式その他の出資証券及び公社債等の有価証券並びに先物取引、先渡取引、オプション取引、スワップ取引及びこれらに類似する取引（以下「デリバティブ取引」という。）により生じる正味の債権等をいう。

金融負債とは、支払手形、買掛金、借入金及び社債等の金銭債務並びにデリバティブ取引により生じる正味の債務等をいう。

前述の金融資産及び金融負債の範囲には、複数種類の金融資産又は金融負債が組み合わされている複合金融商品も含まれる。また、現物商品(コモディティ)に係るデリバティブ取引のうち、通常差金決済により取引されるものから生じる正味の債権又は債務についても、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従って処理する。

前述の有価証券の範囲は、原則として、金融商品取引法に定義する有価証券に基づくが、それ以外のもので、金融商品取引法上の有価証券に類似し企業会計上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものについても有価証券の範囲に含める。

なお、金融商品取引法上の有価証券であっても企業会計上の有価証券として取り扱うことが適当と認められないものについては、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」では、有価証券としては取り扱わない。

出題意図

本問は金融資産や金融負債の範囲についての具体的な項目について、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づいた基本的な知識の理解と会計的思考を問うている。

(2)

解答例

その他有価証券は、業務上の関係を有する企業の株式等から市場動向によっては売却を想定している有価証券まで多様な性格を有し、一義的にその属性を定めることは困難と考えられる有価証券をいう。このような性質をもつその他有価証券については、個々の保有目的等に応じてその性格付けをさらに細分化してそれぞれの会計処理を定める方法も考えられる。しかし、その多様な性格に鑑み保有目的等を識別・細分化する客観的な基準を設けることが困難であるとともに、保有目的等自体も多義的であり、かつ、変遷していく面がある。よって、売買目的有価証券と子会社株式及び関連会社株式との中間的な性格を有するものとして一括して捉えることが適当とされる有価証券である。

#### 出題意図

本問はその他有価証券の特有の性格について、前述の会計基準に基づいた基本的な知識の理解と会計的思考を問うている。

(3)

#### 解答例

その他有価証券とは、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券をいうが、その貸借対照表価額は時価とする。なお、時価が著しく下落したときは、市場価格のない株式等以外のものについては、回復する見込があると認められる場合を除き、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理しなければならない。一方、市場価格のない株式等については、発行会社の財政状態の悪化により実質価額が著しく低下したときは、相当の減額をなし、評価差額は当期の損失として処理しなければならない。いずれの場合においても、当該時価及び実質価額を翌期首の取得原価とする。

その他有価証券の評価差額の会計処理は、洗い替え方式に基づき、次のいずれかの方法により処理する。(1) 評価差額の合計額を純資産の部に計上する。(2) 時価が取得原価を上回る銘柄に係る評価差額は純資産の部に計上し、時価が取得原価を下回る銘柄に係る評価差額は当期の損失として処理する。

#### 出題意図

本問はその他有価証券の貸借対照表価額とその評価差額の会計処理方法について、前述の会計基準に基づいた基本的な知識の理解と会計的思考を問うている。

以上

## R7 一般入試 IT ビジネス

### 出題意図

生成 AI という現代的テーマについて、現在の知識を整理し、ビジネスや社会への影響を多面的に分析し、論理的に記述する力を測ることで

特に「単なる知識暗記」ではなく、思考力・表現力・現代社会への関心を評価する狙いが大きいです。

採点ポイントは、ビジネスへの影響を生産性向上、コスト削減、マーケティング、イノベーション、リスク等、多面的な視点から論理的に書けているかになります。

令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程

一般入学試験問題【専門科目】

キャリア・マネジメント学

#### 解答例

キャリア構成理論とは、職業行動や職業経験に意味を与えることによってキャリアを構成することを扱う理論である。その際、重要となる概念は次の3つであるとサヴィカスは提示している。すなわち、職業パーソナリティ、ライフテーマ、キャリア・アダプタビリティ（キャリア適合性）である。

職業パーソナリティは、個人のキャリアに関連した能力、欲求、価値観、興味と定義されるが、確定したものとして扱うのではなく、あくまで手がかり、継続して見つけ出していくものとしてとらえる点に特徴がある。

次にライフテーマとは、個人が自身の職業行動に意味や方向性を与える一貫した解釈や表現のまとまりである。①小さい頃の憧れの人、②普段読む雑誌、TV、③好きな映画や本のストーリー、④好きな格言やモットー、⑤幼い頃の思い出の共通点などを考えることで探ることができる。

最後にキャリア・アダプタビリティは、個人が仕事に適応する際に利用する態度、能力、行動と定義でき、キャリアの関心、統制、好奇心、自信という4つの次元を高めていくことで、適合性を向上することができる。

このキャリア・アダプタビリティは、現在および将来のキャリア発達課題、職業上のトラウマ、トラウマなどへの対処のリソースであり、現代のように変化の激しい時代において、予測が困難な出来事や精神的なストレスにうまく対処するためには、キャリア・アダプタビリティを向上させていくことが重要である。また、キャリア・アダプタビリティは将来のなりたい自分、あるべき姿に向けて自己概念を発達させ、実現していく方法であるともいえる。

#### 出題意図

キャリア理論のうち、主要な理論であるキャリア構成理論について論述する問題。本問題は、キャリア構成理論を説明する際に重要な鍵概念に関する理解力、またそれらを具体的かつ簡潔に説明する論述力を問うている。

令和7年度 近畿大学 大学院商学研究科 博士前期課程  
一般入学試験問題 【専門科目】 (2024.9.14 実施)  
解答例・出題意図

科目名：スポーツマネジメント

問題番号：9

スポーツ・運動実践とパーソナリティの関係について論じなさい。加えて、アスリートにおける「完全主義」および「攻撃性」の利点と欠点について論じなさい。

一般社会で不適応的なパーソナリティであったとしても、スポーツの文脈では適応的で望ましい結果をもたらすパーソナリティである可能性も考えられる。また、長期的なスポーツ・運動の実践によってパーソナリティの変容が生じることも知られている。

「完全主義」は結果的により高度な技能やプレーを追求する意図を高く持つため、競技成績も優れる。一方、心理的健康の低下やバーンアウト等の不適応的な側面に関連する。

「攻撃性」は、個人のエネルギーと捉えられ、建設的に競技力へ変換される。一方、その統制がなされない場合、選手間の喧嘩や不必要なラフプレーを生じさせ得る。

出題意図：スポーツや運動の実践とパーソナリティとの関わり、2つの心理的概念の利点と欠点を正しく理解し、的確に論じられるかどうか。